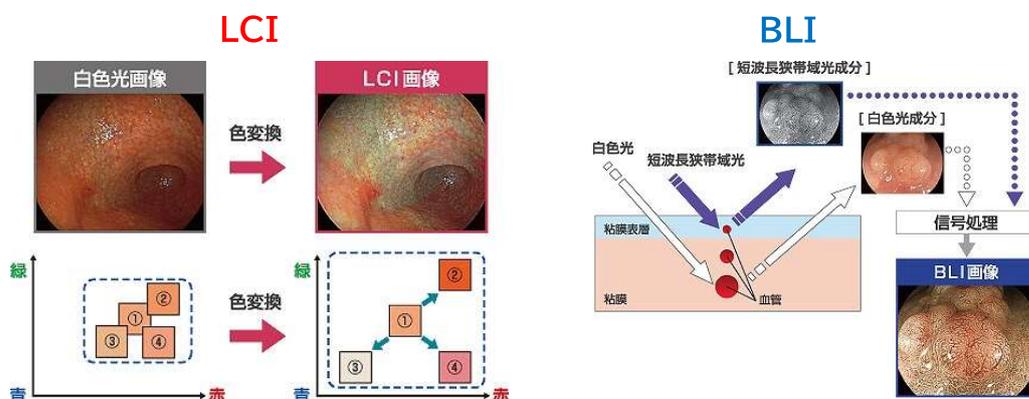


最新の内視鏡を導入しました

当院では 2021 年 10 月に、FUJIFILM 社製 LED 光源搭載の内視鏡『6000 システム』を使った胃内視鏡、大腸内視鏡を導入しました。



BLI(Blue LASER image)での粘膜表面の観察、LCI(Linked Color Imaging)での炎症、非炎症部位の観察が経鼻内視鏡でも可能となり、また画質が大幅に向上したため、苦痛の少ない細い経鼻内視鏡でも、非常に正確な診断ができるようになりました。大腸内視鏡も高画質で正確な診断が可能です。



さらに AI 技術を用いて大腸内視鏡検査における大腸ポリープの検出と診断を支援する「CAD EYE」を導入しました。大腸内視鏡検査ではひだに隠れたポリープや平坦な形のポリープを見つけにくいことが大きな課題でした。「CAD EYE」システムは大腸ポリープなどの病変の検出および鑑別をサポートする内視鏡診断支援機能です。

